

## 大学 コロナ禍でも前向きに挑戦



奨学生 Yさんの声  
新型コロナウイルス流行によってアルバイトができなくなったり、異例の大学生活を送ったりしたことで、「自分は大学生を続けてもよいのだろうか?」と悩む

時期もありました。

しかし、奨学金を頂けたことで、不安が少し和らぎ、勉学に専念することができました。さらに、新たなことに挑戦してみようという意欲が湧き、今まで時間が無いという理由で諦めていた資格の取得を志すことにしました。

## 短大 「最後の青短生」としての誇りをもって学びたい



奨学生 Sさんの声  
幼い頃からなりたかった幼稚園教諭の夢。青山学院女子短期大学の特色に惹かれ、片道2時間程かかりますが、子ども学科に入学しました。将来は保育者として子どもや保護者を支え、社会に貢献することのできる女性になりたいです。

## 高等部 「青山学院高等部」だったからこそ得られたもの

### 奨学生 Rさんの声

高校生活では、いろいろな人に出会うことによって多くの考え方や価値観に触れることができました。それによって、自分の視野が広がり、新たな視点で物事を考えられるようになりました。



新校舎グラウンドに向かう生徒

## 幼稚園 アイディアを合わせて心をひとつに



軽井沢キャンプの代わりに「ゆりきくの日」

宿泊行事の代わりに、園児と保育者とでどのように過ごしたいかを共に考え計画していきました。アイデアが一つの形となっていくことを経験する恵みの時となりました。

## 初等部 withコロナ時代の新しい給食の形



感染防止対策を講じた給食の様子

これまで大切にしてきたキリスト教の「共食」を踏まえ、教職員・児童一丸となって考えて作り上げた新しい形で「食の大切さ」を伝えています。

## 中等部 タブレットで「挑戦」と「創意工夫」の授業



ICT教育のプログラミング授業の様子

ICT教育の先進的な取組みとして、タブレットを活用したハイレベルなプログラミング授業を実現しました。



# あなたが支える青学の今

皆様のやさしさが青山学院を支えています。  
ご支援をよろしく申し上げます。

## 寄付金の3つの用途



01 経済的理由で学びを止めない

### 給付型奨学金



02 青山学院が目指す教育・研究の未来へ

### 教育研究資金



03 青山学院の更なる発展へ

### 万代基本基金

目標1,000億円

## 想いを未来に繋ぐ青山学院

皆様のあたたかいご支援は、給付型奨学金として学生・生徒を支え、青山学院の教育研究の可能性を広げるほかに、基金となって学院の未来を創ります。

